

地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所属 教育学部
氏名 杉田 正明

活動テーマ	第17回ジュニアアスリートフェスティバル ～小学生の「走る」「跳ぶ」「投げる」機会の創出～
実施期間	平成24年11月17日（準備）～平成24年11月18日
活動内容	<p>本事業は、地域への貢献事業として、本学陸上競技部が中心となって、小学生を対象としたレクリエーションや「走る」「跳ぶ」「投げる」の三種競技のフェスティバルを本学の陸上競技場で開催するものであり、本年度で17回目となった。</p> <p>第17回ジュニア・アスリート・フェスティバルを三重大学陸上競技場で以下のような内容で、三重大学陸上競技部と津陸上競技協会が共催のかたちで実施した。学生達は小学生の低学年、高学年を対象とするプログラムを企画し実施するため、数ヶ月前から当日まで様々な準備や当日の運営等の機会があり、大学での学びを実践化する良い機会ともなっている。</p> <p>【当日の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 午前の部：低学年対象のレクリエーション 雨天のため、第二体育館で走る・跳ぶ・投げる、のレクリエーション 以下、天候回復により陸上競技場で実施 ・ 午後の部：三種混成競技記録会（3,4,5,6年生対象） 3,4年生 50m、ボール投げ、走幅跳 5,6年生 100m、ボール投げ、走幅跳 ・ オープン種目：男子 50m、女子 50m（1,2年生対象） ・ 男子 1000m、女子 1000m（5,6年生対象） ・ 表彰式 <p>過去の参加選手の中には、陸上競技の全国中学チャンピオンをはじめ陸上以外でもサッカーや野球で活躍する選手を数多く輩出しており、こうした機会の提供は、子どもの体力低下が叫ばれている中で、子ども達のスポーツ全般への愛好的な態度を育み、本格的な運動参画への一助となり、地域における生涯スポーツへの第一歩となるきっかけ作りに大きく寄与しているといえる。継続開催が重要である。</p> <p>中勢地区はもとより、北勢、伊賀、志摩地区から、本年は120名の参加者と併せて保護者の方々の来学があり、11月の県内小学生の恒例行事となっていることがうかがえ、三重大学を拠点としたスポーツを通じた地域貢献を担っている。このフェスティバル参加した小学生が数年後に本学に入学し、陸上部員として運営を支えたりしている事例もあり、地域におけるスポーツを通じた好循環にもつながっている。</p>